

区長部の報告

御霊やすらかに — 若槻地区戦没者追悼式 —

若槻地区戦没者追悼式が6月7日(火)、若槻コミュニティセンター体育館で行われました。遺族会42人をはじめ、主催の「コミュニティわかつき」関係者ら約160人が参加。アトラクションもあり静粛のうちにも和やかな追悼式でした。

追悼式が法要から宗教色のない献花式に変わって今年度が2年目。丸山昭美コミュニティわかつき会長が「大戦が終えて今年66年。多くの犠牲者を思えばいまお心の傷は癒えない。改めて若槻地区267柱の御霊やすらかに」と式辞を述べた。



献花する遺族・関係者たち

献花、「ふるさと」こころを繋ぐ

鈴木清県議会議員、藤沢敏明若槻地区遺族会会長が追悼のことばを述べ、参加者がひとりひとり思いを込めて菊を献花しました。

式の後、若槻公民館で活動している団体の追悼演奏会が催され、宝生流謡曲、オカリナ、コーラス4団体による合同の合唱が演奏されました。締めくくりは「ふるさと」を全員で合唱。東北3県の大災害地でもことあるごとにこの曲は歌われ、「こころを一つに」繋ぐ拠りどころとなっています。

交通安全部会の報告

高齢者交通安全教室



体験談を寸劇に

5月16日(月)から20日(金)まで、若槻地区7カ所の会場において、高齢者の交通安全教室が開催され大勢の参加がありました。

若槻大通り交番の岩佐所長の講話、路上講習、県交通安全支援センターの女性による寸劇、ビデオ鑑賞などそれぞれの会場で交通安全の心構えを学びました。寸劇は、高齢者に身近な内容でユーモアを交えて演じていただき大変好評でした。

なお、交通安全部会では、4月に各区ごとに春の街頭指導、道路の白線引きを実施しました。

自然活用部会の報告

春の自然観察会

春の自然観察会が5月21日(土)、昭和の森公園で開催され、60名の参加がありました。

NPO長野市緑化協会の小山さんや山本さんが講師として、樹木と野草の観察を行い、観察後シイタケの駒打ちに取り掛かりました。

自然活用部会では、ホタル生息維持に取り組み、5月14日は土京川清掃を行い、6月26日にはホタル祭りを開催し、7月10日までの期間で案内をしていますので、ホタルの乱舞をご覧ください。



山野草を説明する山本さん

トレッキングで健康づくり



三登山トレッキング大会が4月29日(金)、愛護会主催により開催され、近年にない160名の参加がありました。

健康増進や体力作りのために参加される方が増え、若い女性にも人気がありブームを巻き起こしています。コースは、健脚コースとお手軽コースに分かれて、里山トレッキングを楽しみました。